

発行所
氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



花園神社大酉祭正式参拝を終えて

正式参拝後に参加者で記念撮影

花園神社酉の市

花園神社の酉の市は、明治時代に始まりました。酉の市は、大鳥神社の祭神である日本武尊が東夷征伐の戦勝祈願をし、帰還の時に御礼参りをしたことにちなみ、日本武尊の命日である11月の酉の日に行われるようになりました。商売繁盛の熊手を売る露店商のにぎやかな声は、師走を迎える街に欠かせない風物詩。毎年60万人もの人が訪れる市の日には花園神社名物の見世物小屋を覗くチャンスでもあります。



飲食店もコロナ前のように出店していました。熊手商の掛け声も賑やかで、日常が戻ってきていることが感じられました

11月28日(月)高円寺氷川神社一行(氏子青年会)で花園神社(新宿)を訪問しました。花園神社と高円寺氷川神社の先代宮司同土が懇意にしてきたことから、毎年この時期の花園神社の年中行事である「大酉祭」に訪問して正式参拝をさせて戴いております。
毎年、氏子総代、氏子青年会、神社関係者で訪問してはいますが、今年も昨年に続き、コロナ感染対策として参加人数を少なくし、氏子青年会と関係者のみで訪問してきました。
多忙な時期にも関わらず受け入れて戴いた花園神社の皆様に対して、参加者全員で改めて感謝の気持ちを抱きました。花園神社の深いご協力に感謝の気持ちを忘れずに、来年以降も定期的に続くことを祈念します。

令和5年 厄年年齢早見表(数え年によるもの)

	前厄	本厄	後厄
男性の厄年	24才 2000年 平成12年生 たつ	25才 1999年 平成11年生 うさぎ	26才 1998年 平成10年生 とら
	41才 1983年 昭和58年生 いのしし	42才 1982年 昭和57年生 いぬ	43才 1981年 昭和56年生 とり
	60才 1964年 昭和39年生 たつ	61才 1963年 昭和38年生 うさぎ	62才 1962年 昭和37年生 とら

	前厄	本厄	後厄
女性の厄年	18才 2006年 平成18年生 いぬ	19才 2005年 平成17年生 とり	20才 2004年 平成16年生 さる
	32才 1992年 平成4年生 さる	33才 1991年 平成3年生 ひつじ	34才 1990年 平成2年生 うま
	36才 1988年 昭和63年 たつ	37才 1987年 昭和62年生 うさぎ	38才 1986年 昭和61年生 とら
	60才 1964年 昭和39年生 たつ	61才 1963年 昭和38年生 うさぎ	62才 1962年 昭和37年生 とら

◆数え年とは、満年齢に誕生日前には二才、誕生日後には一才を加えた年です。

- ・ 大声で騒ぐことはお控えください。
- ・ できるだけ一方通行となるように、参拝通路を設置させて戴きます。
- ・ 正月期間は手水舎を閉鎖させて戴きます。
- ・ 境内は全面禁煙とさせていただきます。

◆ご参拝にあたり◆

特に正月三が日は多くのご参拝が見込まれますので、できるだけ混雑をお避けしてお越しください。

《開門時間》

12月31日(土)18時~1月1日(日)19時
1月2日(月)~1月4日(水) : 7時~18時
1月5日(木)以降 : 7時~17時



《社務所受付時間(御朱印・神札・御守など)》

1月1日(日) : 9時~18時
1月2日(月)~1月4日(水) : 9時~17時
1月5日(木)以降 : 9時~16時

※状況により受付時間が変更となることもあります。
※詳しくは公式サイト、公式ツイッターでご確認
戴くか、社務所へお問い合わせ下さい。

◆お焚き上げ神事

31日(土) 23時45分~
今回は混雑回避の為、お焚き上げ場への入場は禁止とします。

◆お神酒・甘酒

今回から3年ぶりに再開予定です。
是非お求めになってください。

新年のお参りは氷川神社へ
令和五年初詣のご案内



新年ご祈禱のご案内

氷川神社では、新年清祓(初詣)を始め、厄祓い、その他各種祈禱を承っております。年の始めには是非、神恩感謝と弥栄、安寧を祈願いたしましょう。マスク着用、アルコール消毒、換気など感染対策を徹底します。



令和4年の初詣の様子



年末年始のお焚き上げ
についてお願い

年末から注連縄、破魔矢、神札、お守りなどのお焚き上げを承ります。納札箱は社務所玄関付近に設置しますので、そちらにお納めください。また鈴など不燃物が付着している授与品は外してお納めください。陶器などの不燃物も受け付けかねます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

年末の注連縄販売

- ◆日時
12月26日(月)
12月27日(火)
12月28日(水)
いずれも11~16時
※時間は前後することあります
- ◆場所
氷川神社境内
※数に限りがあり、なくなり次第終了となります。
(初日だけで終わることもあります)

以前は年末になると高円寺の街には臨時の注連縄販売所が数か所ありましたが、時代の変遷と共に徐々になくなってしまいました。
2019年より本社神輿宮頭を務めて戴いている(有)上野工務店・上野様に氷川神社境内に臨時販売所を設営して戴き、注連縄を販売しております。皆様のお越しをお待ちしております。

注連縄の販売



★かつてのこうえんじん★

作 狩野俊



社報199号「こうえんじん」で紹介した狩野様(コクテイル書房店主・高円寺北中通り商店会会長)は文章を書くことがとても好きで得意ということを知り、社報への定期連載をお願いしたところ、ご快諾戴きました。

今後は定期的に「今は亡き、高円寺で生きてきた人達」を紹介していきます。紹介する方は全てご存命ではないことから題名は「かつてのこうえんじん」とすることとしました。



コクテイル書房



な商る民店
かりあ古お
や通になの
ぎ中街敵風
に北店素家



翁 闌氏

戦前の日本、というより高円寺で、小説や詩を書いた作家、翁闌(おうのう)は明治22年に台湾で生まれた。彼を知る人は日本で多くないが、台湾では再評価され、多くの読者を持つという。彼の作品をよく読む知人は、翁闌を太宰治と似ている、と評していた。彼は昭和9年に本土に渡り、昭和15年に30代の若さでなくなるまで、多くの時間をここ高円寺で過ごした。彼の作品『東京浪人街 高円寺界限』には今と変わりない、活気に満ち、音を立てて振動しているような、戦前の高円寺の姿が描かれている。

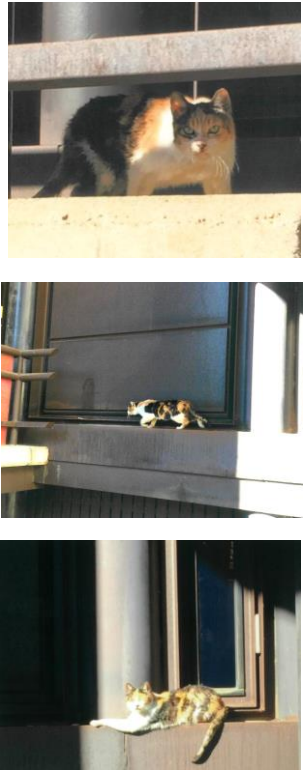
「ここ高円寺は何とざわざわして、浪人風情の人士の多いことか」「この街を歩く人々といえば、男女の学生、サラリーマン、ウエートレス、ダンサー、巴里帰りらしい画家、おかつぱの文学青年、酔漢」(同作から引用)翁闌は来日当初、渋谷に住んだのだが落ち着かず、やがて高円寺を見つけ、友人の下宿に転がり込む。「やっぱりこちとら風情には、この浪人街が身について」と書くように、この街の多種多様な人が住む雰囲気、そしてそれを受け入れる寛容さを氣にいつていたようだ。翁闌もやがて日本大学を中退、まさに浪人となっても、高円寺に住み、文章を書き続けた。昭和15年に高円寺で亡くなったのだが、餓死とも凍死とも、その死因もさだかではなく、遺骨もどこに行つたのかわかつていない。

翁闌の高円寺での足跡を探し、映像作品にしようと、2019年の3月に、台湾の映像作家リンさんが来日した。高円寺にある友人のマンションを拠点にし、二か月に及ぶ聞き取り調査は、歴史の彼方にいる翁闌を探す試みと同時に、彼女のインタビュによって多くの人たちの記憶を刺激し、今まで忘れていた高円寺の姿を蘇らせた。暗渠になる前の美しい流れの桃園川、氷川神社の中にあつた料亭の姿、高架ではない中央線のいつまでも開かない踏切。それは小さいころに見た風景であり、今は亡き父や母、可愛がつてくれた祖父母が語ってくれた、かつてあつた懐かしい高円寺。そしてその街に、翁闌も生き、生活をし、言葉を書き綴っていた。

多くの方から話を聞いたが、いっこうに翁闌の姿は見えてこず、諦めムードが漂っていたころ、奇跡のように、翁闌が下宿していた家主の息子さんが見つかった。高円寺の様々な人の輪が繋いでくれた縁、彼女の執念と思いが実つた結果だろう。しかし、何より書くということに執着し、作品を残し、死してのちにも存在をこの世に留めた、翁闌の思いが、80年の時を超えた出会いをもたらしたと思つている。かつて自分の父親の下宿に住んでいた作家を探しに、異国から来たリンさんの話を聞いた夜、息子さんは溢れる思いに胸がいっぱいになり、眠ることができなかつたという。

忘れない限り人は死なない、という言葉を出した。過去を思い出させることで、彼女は多くの亡き人を蘇らせたとも言える。これを慰霊というのではないか。

「みまもり」の授与を開始します



いつも見てるよ空からの日

東京都杉並区高円寺などで気象予報士の受験講義を開く「気象予報士のかてきよ歩☆カフエ」代表の中島俊夫氏が制定。中島氏は高円寺にある日本で唯一の気象神社の境内に10年以上住み着いていた三毛猫のミケが2017年12月3日に社殿を拝むような姿でなくなっていたことを知り、ミケが空から見守ってくれているとの思いから今日を記念日としたもの。「いっつ(2)も見(3)てるよ」の語呂合わせでもあり、見守ってくれているミケのためにも高円寺の気象の記念日にとの願いが込められている。



12月3日(土)は「いつも見てるよ空からの日」の記念日にあたり、この日より、気象神社の新しい授与品「みまもり」の授与を開始させていただきます。長年気象神社をみまもってくださった三毛猫の「みけさん」に見守られて、皆様にとって穏やかな吉日となるように祈念申し上げます。

お知らせ



令和4年12月の御朱印



今月の御朱印

【氷川神社】

- ・12月の花札「桐と鳳凰」のハンコ
- ・年越の大祓のハンコ

【気象神社】

- ・今月の天気ハンコは雪
 - ・柚子湯で干支交代のハンコ
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載しますので、ご覧ください。

長年神社に住みつき、見守ってくださった三毛猫の「みけさん」ひなたぼっこをしたり、晴天祈願を常にそばから見守ってくださいました

手水舎を花手水

にしました



今月の盆栽



氏子地域の盆栽屋ラビア デッソ様が毎月盆栽を神社に届けてくれます。素敵な盆栽を毎月紹介していきます。

編集後記

ひかわ201号をお送りしました。

12月になるとシベリア大陸からの強い寒気が北東風により日本海に流入し、日本海上で筋状雲が発生して、この雲が日本海側で大雪をもたらし、山越え気流が入る関東地方平野部は下降流の影響で晴天となります。

第1回お天気フェス(仮)を開催することができました。全ての関係者に心より御礼を申し上げます。

◆社報「ひかわ」

148号(2018年7月号)から現在の様式になりましたが、過去の社報をお求めになりたい方はお気軽に神社までお問い合わせ下さい。(148号)が対象となります

◆ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈祷を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。

コロナ感染防止対策の為、マスク着用、適切な間隔の確保、消毒や換気を徹底しますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。